

早蕨

株式会社 さわらび

さわらびニュース 2012年 1月1日発行号



本社 千葉県鴨川市金束781
TEL.04-7098-1181(代表)
FAX.04-7098-0517
http://www.sawarabi.com
Eメールinfo@sawarabi.com

vol. 14

編集 編集長 藤井 浩一
編集委員 野村 祥生 荒井 祐司



CLOSE UP

さわらびを支えて頂いた方々〈第6話〉

「笑顔は幸せの源」

財団法人 やすらぎの里
理事長 木村 正孝 様

平成24年の新春を迎え、世界中の人々が平和で平穏な生活が送れます様心から祈るばかりです。この度「さわらびニュース」の新年号に私に寄稿のお声をかけていただき、大変うれしく思っております。

私は、平成5年に、旧富山町平久里中に小さな家を購入し、友人のコロッケ製造業、三富屋の社長さんの紹介で、上條マル子社長とご縁をいただきました。初めて会社を訪問させていただいたときに、社長、専務に笑顔で迎えていただきました。何よりびっくりしたのは社員の皆様の礼儀正しさ、来客者を心からもてなす気持ちが溢れていたことです。マル子社長の笑顔にも誘われ、思わず微笑がこぼれてしまいました。やはり笑顔は幸せの源だと思います。社長の優しさの笑顔、社員の皆様の緊張の中での笑顔、この笑顔が昔から言われている「笑う門には福来る」と、いかに笑いが運を呼び込む大切な要素が、株式会社さわらびさんの隆盛はここにあると思います。

社長ご夫妻も私もゴルフが好きで、毎年社長の誕生日に行われている「さわらびさんのゴルフコンペ」には、毎回夫婦で参加させていただいており、今年は約300名の方が参加されたそうですが、表彰式での参加者の喜びの(賞品が良くて)笑いは、今後益々運を運んでくださる皆さんが参加されることと思います。

11月6日、プロゴルファーの上田桃子さんが、日米ツアーミスノクラシックを終始笑顔でプレーし、16アンダーでプレーオフの末優勝したことに対し、後輩の宮里美香さんが、「アメリカで試合中に桃子先輩が笑っている姿を見たことがなかった。笑っている姿を見ただけで涙がでた。」といい、笑いの大切さを物語っています。

私も、いつも笑顔を決やさないようにと思っていますが、昨年毎月登っています伊予ヶ岳で足に疲れを感じ、5月11日に南房総市富山国保病院に行きましたところ、お腹から出血していて貧血がひどいということで、13日に胃カメラを撮ったら5年前からの末期の胃癌が発覚し、山倉先生からこれでは手術ができないので

国立がんセンターか大学病院に行くようにと言われ、貧血を治してから考えましょうということになりました。でも18日の館山での恒例の「さわらびさんのゴルフコンペ」に参加し、スコアは97点と悪かったのですが18ホール回ることができ、表彰式では皆さんのパワーをいただいたような気がします。そして貧血が良くなり、6月2日に入院したのですが、山倉先生からこのままでは余命3ヶ月から良くて1年なので、病院を変えたほうが良いと言われ、それでは近くのあまり人の来ない静かな病院がいいですと言われ、すぐ安房地域医療センターの水谷院長先生に連絡をしていただき、翌日行きました。病院に入りましたら、そこでバッタリ常務の上條長永さんにお会いし、病院に掛かることがわかってしまい、早速社長ご夫妻がDVDプレイヤーと韓国ドラマを持って病院に駆けつけてくださいました。それからベッドで妻と病気のことを忘れて毎日見させていただき、気持ちが落ち込むことなく、先生が回診の時に「枕が二つ並んでいますね」なんて言われ、楽しい入院生活を送ることができました。

その後手術できないと言われた癌が抗癌剤治療で小さくなり、これなら切れると院長先生が10月14日に手術をしてくれ、胃・胆のう・脾臓を全摘出し、11月18日に退院できまして元気に過ごさせてもらっています。

振り返りますと、さわらびさん社長ご夫妻とお付き合いをさせていただき、私も運の強さをいただいたような気がします。本当にありがとうございました。私もいただいた運をお返しできるようこれからも頑張ります。社長ご夫妻、社員の皆様どうぞこれからも笑顔忘れず一層努力されまして「株式会社さわらび」が益々発展されますことをご祈念申し上げます。

「今年も笑顔と社会の恩を忘れず、
喜んで進んで働き、皆で頑張りましょう」

プロフィール

- 木村 正孝 (きむら まさたか)
- 昭和18年 4月5日生まれ 横須賀市長井に生まれる。
- 昭和37年 横須賀市役所に就職し、人事課・経済部消費生活課などに配属し、昭和61年退職。
- 昭和62年 横須賀市議会議員選挙に立候補し当選。平成3.7.11.15年と5回当選し、平成17年辞職。
- 平成18年 保育園ハッピープリスクールを建設。
- 平成22年 末期の胃癌発覚、6月入院。抗癌剤治療を受け9月末に癌が小さくなり手術。胃・胆のう・脾臓を摘出。11月に退院。
- 平成23年 財団法人やすらぎの里・南葉山霊園理事長に就任し、現在に至る。

ありがとうございます



木村先生、いつもありがとうございます。

私も先生からいつもパワーをいただいております。常に相手の方の気持ちをくみとり、相手の方の心を豊かにしてくれる木村先生御夫妻との御縁を、これからも大切にしたいと思います。

学び その6

どのようなことでも
喜んで感謝して
受けとめる
澄みきった心



